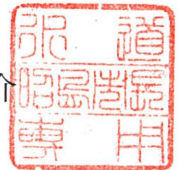


昭島市水道事業の業務状況等の公表について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定及び昭島市水道事業の設置等に関する条例（昭和41年昭島市条例第27号）第7条の規定に基づき、令和7年度下半期における昭島市水道事業の業務状況を別紙のとおり公表する。

令和 8年 6月 8日

昭島市長 白井伸介



この公表は、令和7年10月1日から令和8年3月31日までの令和7年度下半期における業務と経理の状況及び令和8年度の予算についてお知らせするものです。

## 1 事業の概要

### (1) 給水人口と配水状況

令和8年3月末の給水人口は116,348人、給水世帯は59,028世帯で、前年度の下半期に比べ人口では621人(0.5%)、世帯では733世帯(1.3%)増えています。

また、10月から3月の下半期における総配水量は6,431,380<sup>m</sup>で、前年同期と比べ42,160<sup>m</sup>(0.7%)増えています。なお、料金の対象となる有収水量は6,176,377<sup>m</sup>で、前年同期と比べ5,269<sup>m</sup>(0.1%)減っています。

### (2) 建設改良事業

水道水の安定給水と有効利用、また災害に強い水道施設の整備のために、下半期では市道昭島21号配水管布設替工事、水道料金システムの更新に伴う環境設定委託を実施しました。

## 2 経理の状況(税抜き)

### (1) 収益的収支

10月から3月までの下半期における収益的収支では、収入総額が987,568千円で、そのうち水道料金の給水収益が712,521千円になっており、収入総額の74.3%を占めています。

これに対して支出総額は1,261,788千円で、主な支出では配水及び給水費や業務費などの営業費用が1,259,160千円、節水対策の雨水貯留槽設置費助成などの営業外費用が2,628千円となっています。

### (2) 資本的収支

水道施設の建設や改良に必要な費用を経理する資本的収支では、収入が負担金などの10,086千円に対し、支出は、配水管布設替工事など建設改良費の支出総額が733,470千円となっています。

## 3 企業債の状況

水道施設の建設や改良事業のために借り入れた企業債は、令和4年3月末で完済し、新たな借り入れはありません。

以上が、令和7年度下半期における水道事業の経営状況のあらましです。

## 令和8年度経営及び予算編成方針

### I 予算編成の基本的考え方

水道は、市民の日常生活や産業活動に欠くことのできない重要な社会基盤であり、昭島の宝でもある安全・安心でおいしい深層地下水 100%の水道水を将来にわたり安定して供給し続けることは、本市の水道事業に課せられた使命である。

一方で、全国的に見ると水道事業を取り巻く経営環境は、施設の老朽化等への対策をはじめ、震災や気候変動に伴う災害に備えた施設の強靱化を着実に進めていかなければならない非常に厳しい状況である。

本年度の予算は、引き続き様々な経営環境の変化にも柔軟に対応できる経営基盤の確立に取り組むとともに、「第二次昭島市水道事業基本計画」に掲げた三つの目標である「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を達成するための施策を着実に推進して、本市の水道事業に課せられた使命を果たしていくものとする。

また、物価高騰による負担を軽減するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、すべての世帯・事業者を対象に前年度から引き続き4月から翌年1月まで通算12か月間の水道基本料金減免事業を実施することとした。

収益においては、料金の納期限内納入を推進し、料金収入の確実な収納の徹底を図る。

経常経費では、引き続き日常業務の見直しによる徹底したコスト削減を図る中で安定した給水を確保しつつ、水質基準や水質検査方法などの見直しが予想されることから、それらに柔軟に対応し、水道水の安全性と品質の維持に取り組んでいくとともに、漏水調査についても継続して実施し、高水準にある有収率の維持に努め、持続可能な事業運営に資することとした。

建設改良費では、引き続き水道管路の耐震化工事を推進し災害時の減災対策を講じるとともに、深層地下水 100%の安全でかつ安定した給水を確保するため、東部配水場集中監視制御装置更新事業や水源井新規整備に伴う掘削工事等を適切に実施する。

### II 予算の内容

#### 1 収益的収入及び支出

##### (1) 収入

事業収益は、総額を2,164,516千円と定め、前年度に比較して10,186千円(0.5%)の増を見込んだ。このうち、営業収益は2,037,086千円で、前年度に比較して2,963千円(0.1%)の増とした。給水収益は、水道基本料金減免事業の実施に伴い、前年度に比較して449,464千円(22.3%)減の1,562,356千円を計上し、料金特別措置補填金として457,029千円を見込んだ。

営業外収益は127,429千円で、前年度に比較して7,223千円(6.0%)の増を見込んだ。

## (2) 支出

事業費は、総額を 1,953,272 千円と定め、前年度に比較して 10,903 千円 (0.6%) の増を見込んだ。

事業費のうち、営業費用は 1,893,687 千円で、前年度に比較して 24,623 千円 (1.3%) の増とした。このうち、原水及び浄水費は、前年度に比較して 1,291 千円 (0.7%) 減の 188,131 千円を計上し、配水及び給水費は、前年度に比較して 12,717 千円 (2.1%) 増の 609,390 千円を計上した。業務費は、前年度に比較して 434 千円 (0.3%) 増の 166,983 千円、総係費は、前年度に比較して 17,058 千円 (9.0%) 増の 206,221 千円を計上し、減価償却費及び資産減耗費は、前年度に比較して 2,403 千円 (0.3%) 増の 718,636 千円を計上した。

以上により、消費税抜きの当年度純利益は、前年度に比較して 49,699 千円 (33.2%) 増の 199,438 千円を見込んだ。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 収入

資本的収入は、総額を 10,186 千円と定め、前年度に比較して 287 千円 (2.7%) の減を見込んだ。

### (2) 支出

資本的支出は、総額を前年度に比較して 595,516 千円 (76.5%) 増の 1,373,477 千円と定めた。このうち、事務費は、前年度に比較して 4,647 千円 (4.2%) 増の 115,067 千円を計上し、配水管費は P C 配水池場内弁更新及び場内外送水・導水管整備工事等の実施に伴い、前年度に比較して 476,800 千円 (115.0%) 増の 891,400 千円、配水場費は東部配水場集中監視制御装置更新工事の実施に伴い、前年度に比較して 88,834 千円 (250.9%) 増の 124,239 千円、原水施設費については、水源井掘削工事実施に伴い、前年度に比較して 79,092 千円 (73.8%) 増の 186,239 千円を計上した。また、水道メーター費は前年度に比較して 16,638 千円 (44.8%) 減の 20,525 千円、固定資産購入費は前年度と比較して 37,219 千円 (58.9%) 減の 26,007 千円を計上した。

なお、資本的収入が支出に不足する額 1,363,291 千円については、当年度分消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填するものとする。

## III 主要な施策

- 1 水道基本料金減免事業
- 2 配水管布設及び布設替工事
- 3 東部配水場集中監視制御装置更新事業
- 4 P C 配水池場内弁更新及び場内外送水・導水管整備事業
- 5 水源井新規整備事業

令和7年度 下半期の給水人口と配水状況

(消費税抜き)

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年同期
給水人口(人)	115,978	116,012	116,049	116,031	116,020	116,348		115,727
給水世帯	58,627	58,674	58,698	58,690	58,708	59,028		58,295
配水量(m <sup>3</sup> )	1,075,710	1,054,190	1,105,280	1,101,600	1,002,910	1,091,690	6,431,380	6,389,220
有収水量(m <sup>3</sup> )	989,112	1,077,813	988,649	1,080,380	1,069,026	971,397	6,176,377	6,181,646
有収率(%)							96.0	96.8
給水収益(千円)	88,249	152,642	121,688	153,424	94,173	102,345	712,521	679,129

## 令和7年度 下半期の建設改良等工事の状況

### 建設改良工事等

工 事 名	主 な 内 容	金額 (千円)	工 期
市道昭島21号配水管布設替工事	HPPE φ100mm=120m、DIP φ100mm=2m 消火栓1基	50,626	7年10月 ~ 8年3月
水道料金システム環境設定委託	更新時期を迎えた水道料金システム用機器の更新、システムの安定稼働に対応するための環境設定	9,889	7年10月 ~ 8年3月

HPPE: 水道配水用ポリエチレン管

DIP: ダクタイル鋳鉄管

## 令和7年度 下半期の収支状況

### 収益的収支

(消費税を含む 単位：千円)

科 目	年間予算額	下半期収支額 (税抜)	予 算 に 対する比率	前年同期
営 業 収 益	2,034,123	967,850 (896,606)	47.6	967,831 (899,927)
うち給水収益	1,757,820	783,764 (712,521)	44.6	608,049 (679,130)
営 業 外 収 益	122,406	96,222 (90,962)	78.6	88,649 (83,717)
特 別 利 益	1	0 (0)	0.0	1,897 (1,897)
収 入 合 計	2,156,530	1,064,072 (987,568)	49.3	1,058,377 (985,541)
営 業 費 用	1,868,697	1,299,716 (1,259,159)	69.6	1,299,415 (1,260,650)
営 業 外 費 用	55,871	27,597 (2,628)	49.4	33,977 (12,156)
特 別 損 失	1	0 (0)	0.0	0 (0)
そ の 他	20,000	0 (0)	0.0	0 (0)
支 出 合 計	1,944,569	1,327,313 (1,261,787)	68.3	1,333,392 (1,272,806)

### 資本的収支

科 目	年間予算額	下半期収支額 (税抜)	予 算 に 対する比率	前年同期
負 担 金 等	10,473	10,086 (10,086)	96.3	10,102 (10,102)
収 入 合 計	10,473	10,086 (10,086)	96.3	10,102 (10,102)
建 設 改 良 費	1,121,061	802,628 (733,470)	71.6	322,104 (296,767)
そ の 他	10,000	0 (0)	0.0	0 (0)
支 出 合 計	1,131,061	802,628 (733,470)	71.0	322,104 (296,767)